

2021年3月期 第2四半期決算概要

2020年11月5日

千代田化工建設株式会社



1

ハイライト

2

損益計算書

3

バランスシート

4

自己資本・利益増減分析

5

受注高・受注残高



参考資料

1.

業績は通期予想に向けて概ね順調に進捗

- 完成工事高、純利益は通期予想に対して各々58%、83%の進捗
- キャメロンLNG案件は第3系列を7月に完工、全系列の顧客宛引き渡しを完了。

2.

受注

- 本年度後半に最終投資決定が予定されている海外大型ターゲット案件を確実に受注していく。

2

損益計算書

(単位:億円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減	通期予想	進捗率
完成工事高	1,749	1,615	△134	2,800	58%
完成工事総利益	220	111	△109	260	43%
完成工事総利益率	12.6%	6.9%	△5.7pt	9.3%	—
販売費・一般管理費	△80	△60	20	△150	40%
営業利益	141	52	△89	110	47%
経常利益	69	48	△21	90	53%
純利益*	48	58	10	70	83%
為替レート(円/米ドル)	108	106		107	

* 親会社株主に帰属する当期純利益

3

バランスシート

(単位: 億円)

	2020年 3月末	2020年 9月末	増減		2020年 3月末	2020年 9月末	増減
流動資産	3,604	3,026	△578	流動負債	3,199	2,541	△658
現金・預金等	1,244	864	△380	営業負債*3	2,575	1,909	△666
営業資産*1	664	602	△62	工事損失引当金	349	390	41
未収入金	687	678	△9	固定負債	402	398	△4
JV持分資産*2	960	830	△130	長期借入金	357	357	△1
固定資産	247	227	△20	純資産	249	313	64
資産	3,851	3,252	△598	負債・純資産	3,851	3,252	△598
				自己資本	244	309	65
				自己資本比率	6.3%	9.5%	3.2%

*1 営業資産＝受取手形・完成工事未収入金＋未成工事支出金

*2 JV持分資産＝ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金

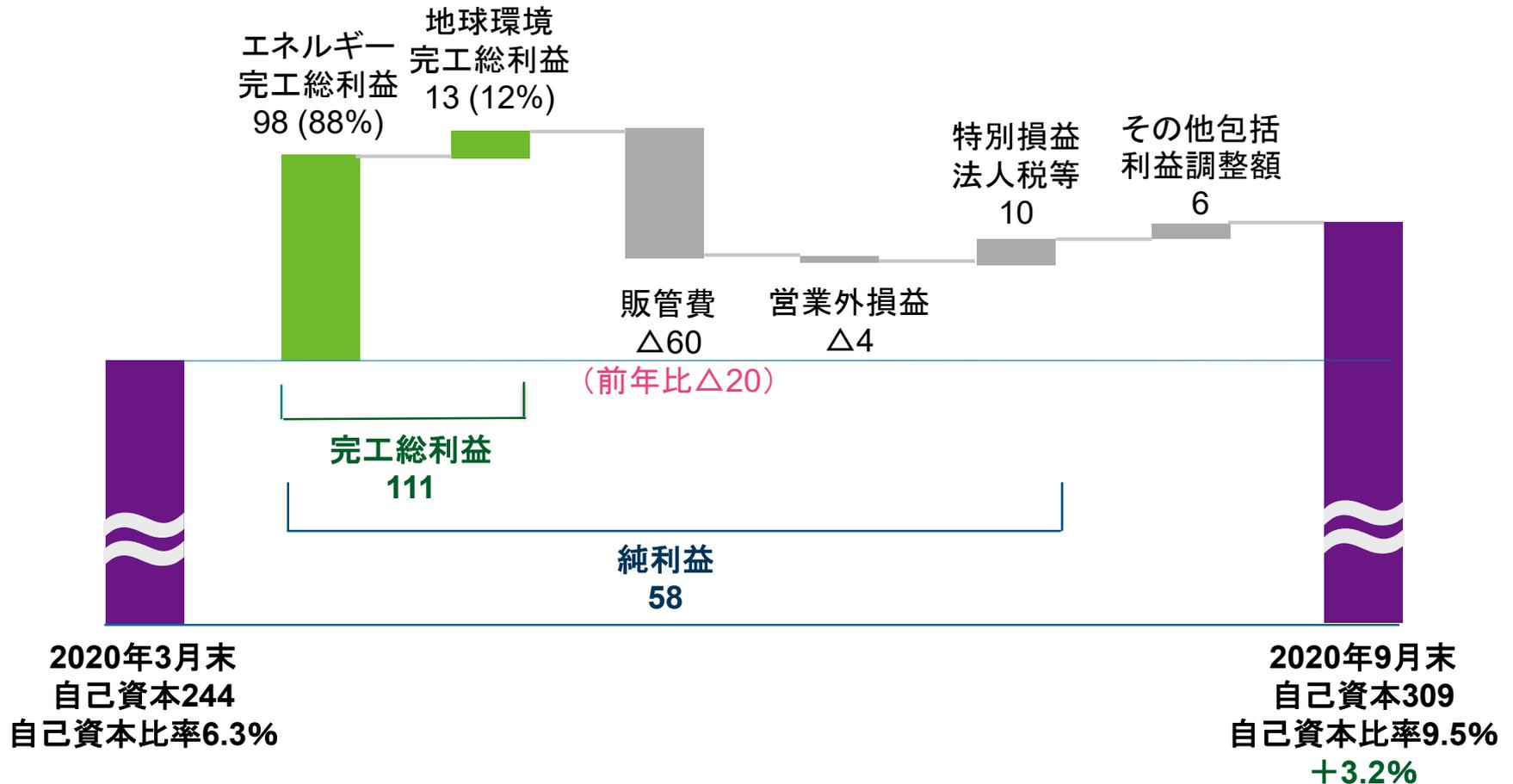
*3 営業負債＝支払手形・工事未払金＋未成工事受入金

4

自己資本・利益増減分析

(単位: 億円)

2021年3月期第2四半期



5

受注高・受注残高

(単位:億円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減	通期予想	達成率
受注高	799	601	△198	6,500	9.2%
エネルギー分野	640	352	△289		
地球環境分野	159	249	91		

	2020年3月末	2020年9月末	増減
受注残高	8,118	6,745	△1,373
エネルギー分野	6,931	5,606	△1,325
地球環境分野	1,188	1,139	△48

受注残高主要案件

	1,000億円以上	500億円以上	100億円以上
エネルギー分野	ゴールデンパスLNG		テキサス・エチレン、タンガーLNG
地球環境分野			バイオマス発電、蓄電池システム

参考資料

I

完成工事高内訳

受注高内訳

受注残高内訳

II

主要遂行中案件

主要完工案件

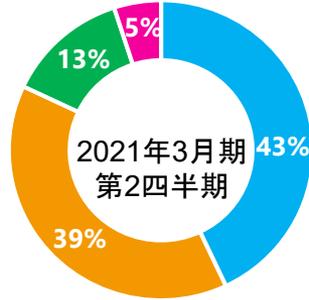
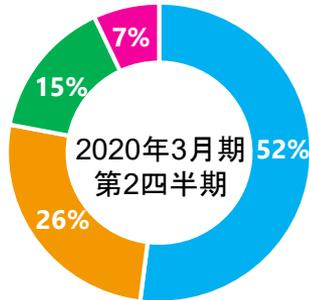
III

成長戦略



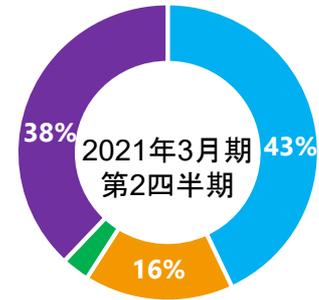
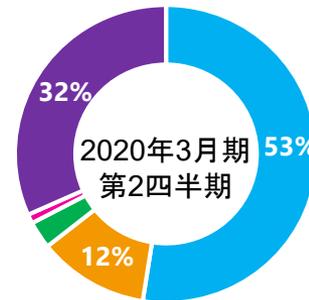
完成工事高内訳

分野別



地域別

(単位:億円)



分野	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期
■ LNG・その他ガス	913	692
■ 石油・石油化学・金属	454	628
■ 環境・新エネ・インフラ・他	258	212
■ 医薬・生化学・一般化学	124	83
合計	1,749	1,615

地域	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期
■ 北中南米	921	701
■ アジア・オセアニア	205	259
■ 中近東・アフリカ	44	46
■ その他海外	19	1
■ 国内	560	609
合計	1,749	1,615

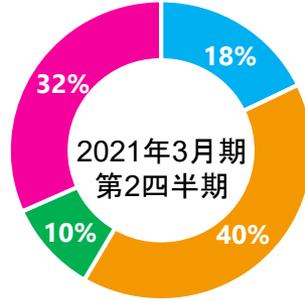
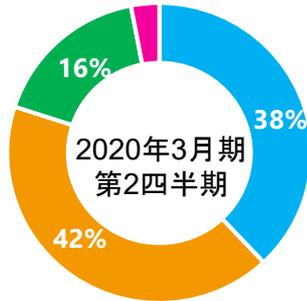
主要案件

	1,000億円以上	500億円以上	100億円以上
海外			テキサス・エチレン、キャメロンLNG、タンゲーLNG
国内			



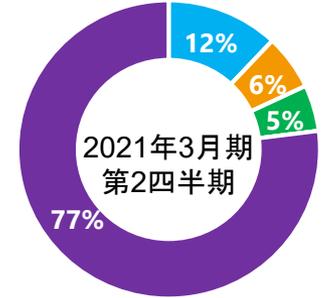
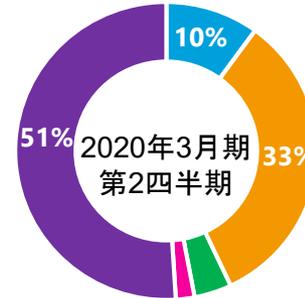
受注高内訳

分野別



地域別

(単位:億円)



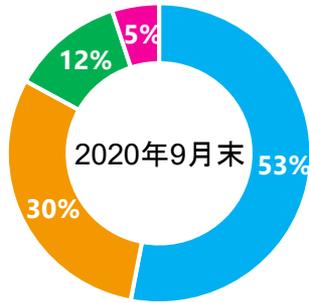
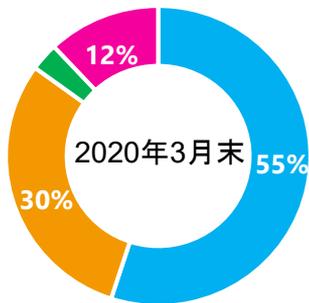
分野	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期
■ LNG・その他ガス	305	108
■ 石油・石油化学・金属	335	244
■ 環境・新エネ・インフラ・他	132	59
■ 医薬・生化学・一般化学	27	190
合計	799	601

地域	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期
■ 北中南米	81	74
■ アジア・オセアニア	261	35
■ 中近東・アフリカ	31	33
■ その他海外	19	1
■ 国内	407	460
合計	799	601



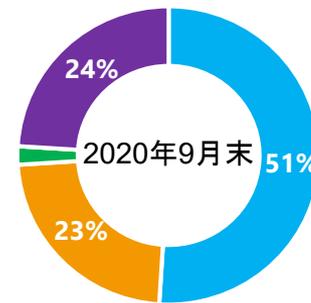
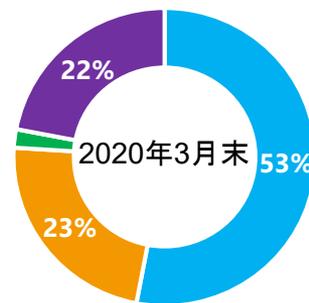
受注残高内訳

分野別



地域別

(単位: 億円)



分野	2020年 3月末	2020年 9月末
■ LNG・その他ガス	4,501	3,596
■ 石油・石油化学・金属	2,429	2,010
■ 環境・新エネ・インフラ・他	201	832
■ 医薬・生化学・一般化学	987	307
合計	8,118	6,745

地域	2020年 3月末	2020年 9月末
■ 北中南米	4,297	3,408
■ アジア・オセアニア	1,883	1,584
■ 中近東・アフリカ	143	125
■ その他海外	0	1
■ 国内	1,796	1,628
合計	8,118	6,745

主要遂行中案件

案件	インドネシア・タンゲーLNG	米国・テキサスエチレン	米国・ゴールデンパスLNG
顧客	BP Berau	Gulf Coast Growth Ventures (ExxonMobilとSABICのJV)	Golden Pass Products (ExxonMobilとQatar PetroleumのJV)
パートナー	Saipem Tripatra	Kiewit	Zachry McDermott
契約時納期	2021年7-9月	2021年10-12月	2025年
進捗率	約88%	約79%	約19%
遂行状況	建設工事を遂行中	中国でモジュールを製作中、 米国向け曳航も順次進捗 現場工事進捗中	設計・調達業務並びに現場工 事を遂行中



キャメロンLNG

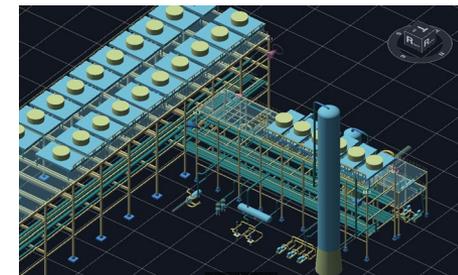
顧客 : Cameron LNG, LLC
能力 : 年産450万トン×3系列
所在地 : 米国ルイジアナ州
業務範囲 : EPC(設計・調達・建設)
遂行状況 : 商業運転開始済み

Courtesy of Cameron LNG, LLC

戦略

- ① 革新的デジタルプロダクト展開
- ② デジタルEPC推進
- ③ 業務プロセス革新

TARGET20
業務効率20%改善



自律型CAD「PlantStream™」画面イメージ

トピックス

<p>① EFEXISソリューション</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 国内外のプラントでソリューションの導入が進行中。 製品の増産、運転・保全コスト削減、運転に伴う排出ガス削減に寄与。
<p>② Chiyoda AWP*の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> EPC全体最適化を実現するプロジェクト管理手法 設計・調達から完成・引き渡しまでをデジタル技術で統合管理
<p>② プラントの空間設計</p> <ul style="list-style-type: none"> -配置計画 -配管 -土木 -建築設計 	<ul style="list-style-type: none"> 高度なCAD技術を有する(株)Arent殿と(株)PlantStreamを8月に設立 プラントの空間設計にかかる工程の80%程度を削減、従来の約5倍の速度で三次元モデル作成を可能とする革新的なプラント設計ツールを開発
<p>③ IT基盤の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> IT大手、TIS(株)殿とTIS千代田システムズ(株)を10月に設立 統合ITシステムの開発・運用を主に、社内外のデジタルイノベーションおよびITソリューションによる価値創造を推進

* Advanced Work Packaging

戦略

- ① クリーンテックをコアとした炭素循環ビジネス
- ② 分散化・データ時代のニューティリティビジネス
- ③ 医薬・ライフサイエンス



川崎臨海部の脱水素プラント

トピックス

- ① 水素社会実現に
- ② 向けた取り組み



- SPERA(LOHC*法)による世界初の国際間水素サプライチェーンの実証
- シンガポールの持続可能な水素経済実現に向け、シンガポール5社、三菱商事と協議開始

- ① CO₂を原料とした化学品の
- ② 製造技術開発

- CO₂を原料としたパラキシレン製造に関する開発に着手
- 希薄な濃度のCO₂を回収、利用し、再生可能エネルギーを用いて電気化学的に有用化学原料を生成する統合システムを開発中

- ③ 医薬品原薬・中間体の連続生産技術の開発協業

- シオノギファーマ(株)殿と協業
- エネルギー・化学分野での連続生産プロセスの知見を活かして、医薬品原薬・中間体の連続生産技術の開発・検討を開始

* Liquid Organic Hydrogen Carrier: 液体水素化有機化合物キャリア
水素を化学反応により有機化合物に変換して、輸送・貯蔵する技術

永続的な発展と社会から
一層信頼される企業を目指して



Energy and Environment in Harmony

千代田化工建設株式会社 IR・広報・CSR 部 <https://www.chiyodacorp.com/jp/>

この資料には、事業戦略・本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。